

これでいいのかGS!

—求められる方向性の転換—

【注】

(※1)
Do you like winter?
?

Yes, I do.

の後は、
I like winter, because ~.そして、
In winter, I want to go to ~,
because ~.

となる。

(※2)
This is meat and potato.

<これは肉じゃがです>の後、

This pork is from Kagoshima.

<この豚肉は鹿児島産です>が
同時に出てくるために使い分けできない子がでてくる。This is pork from ~.
と間違えてしまう(※3)
spinachほうれんそう、

cucumberきゅうり、など

**英語嫌い
つくるだけ****ボーナスカンパニーに
ご協力ください****今年度も要求します**が、
「こうしたGSを行う」と
英語力を本当に育むこと

- 勤務内容・生活実態にあつた大幅賃上。
- 人事評価による差別賃金の撤回。
- 多忙化解消の具体的施策の実行を。
- 必要な学校予算の確保と増額を。
- GS科実施での現場負担の軽減。
- 早急に30人学級の実施を。
- タイムカードの導入に続き、適正な労働時間管理を。
- パワハラ・マタハラの根絶を。
- 保健事務（児童生徒健康診断票（一般歯・口腔）等）の電算化を。

鳴り物入りで実施されているGS（グローバルスタディ科）ですが、現場ではさまざまな問題点が浮き彫りになってきていました。以下その問題点を考えました。

混乱する「探求」

者にとって理解不能なものとなっています。

指導内容が多すぎかる

4年生のGSについて市が例示する指導案では、「探求」と称して自分の氏名に使われている漢字の意味やその由来を調べることになっています。名前の由来については2年生の生活科すでにやっていることでもあり、そもそも英語を学習することとどんな関係があるのかが不明で、指導

また、英語のテキストについても、一つの単元に複数の指導事項が混在しており、児童にとって習得が難易度でやっていることでもあり、そもそも英語を学習することとどんな関係があるのかが不明で、指導

立と产地を発表する単元がありますが、指導する内容が盛りだくさんすぎます。(※2) その他にも、ほうれんそ

う、きゅうり、など耳慣れぬ単語が続出してきて、(※3) 次回のGSでは発音も忘れる子が多く出る実態です。

以上の授業では、グループごとにみんなの前で発表することになつており、子どもたちは、きちんと教えられていない英文を見ながら懸命に発表しており、それは理解してといふより、その場だけの発表になつてしまつているというのが実情です。

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2018.12.17(月)
No. 243

今年度の人事委員会勧告の概要是、①給与月額は改定なし、②期末手当・勤勉手当を4・4ヶ月分から4・4ヶ月分へ(0・05月)引き上げ、③扶養手当の配偶者に係る手当を他の扶養親族と同額まで(1月6500円から6500円)減額し、子に係る手当額を(6500円から10000円に)引き上げるというものでした。

それに対し、再任用教職員や非常勤・臨採者も含め給与を引き上げること、子の扶養手当額引き上げをしたうえで、配偶者手当の引立と产地を発表するなど、成績率を反映させた昇給について「伝え方に不備があった」として県の基準との違いなど「研究する」、成績率を反映させた昇給について「伝え方に不備があった」として県の基準との違いなど「研究する」ことを認め、各自に伝わるよう改善することを約束しました。

「県との違い研究する」と回答

妊娠者の体育代替

などを要求しました。
残念ながら、給与について勧告を上回る回答

(1面「い」れでいいのか
GSの続き)

あやふやな教職員配置の見とおし

学級担任の負担軽減のため英語専科の導入が予定されていますが、これは全校配置ではありません。国の予算の有無にかかわらず市の責任で早急に全校配置すべきですが、それがかなわないれば、「これまで『英会話』『GS』に関するすべての教員・講師がいかに無償に近い労働でこれを支えてきたかを認識し、その待遇を改善すべきです。また、専科配置校がどのようにして決定したのか、今後どこに決定するのかも明らかにしてほしいものです。

5/11の研修会では日本語教師の継続を希望したにもかかわらず、他の人が専科として配置された実態が報告されていましたが、専科配置により、これまで献身的にGSを支えてきた日本人講師の雇用・待遇が劣化するという心配もあります。低・中学年のGSの指導にあたってもうどか新任GS専科の指導教員になるなどしてこれらの人々が継続して勤務できるようにし、本人の希望なしの雇用

されていますが、これは全校配置ではありません。国が予算の有無にかかわらず市の責任で早急に全校配置すべきですが、それがかなわないれば、「これまで『英会話』『GS』に関するすべての教員・講師がいかに無償に近い労働でこれを支えてきたかを認識し、その待遇を改善すべきです。また、専科配置校がどのようにして決定したのか、今後どこに決定するのかも明らかにしてほしいものです。

5/11の研修会では日本語教師の継続を希望したにもかかわらず、他の人が専科として配置された実態が報告されていましたが、専科配置により、これまで献身的にGSを支えてきた日本人講師の雇用・待遇が劣化するという心配もあります。低・中学年のGSの指導にあたってもうどか新任GS専科の指導教員になるなどしてこれらの人々が継続して勤務できるようにし、本人の希望なしの雇用

中断は決してすべきではありません。今後の方向性を日本人講師に十分説明することが重要です。

過剰な授業確保が先行

市教委から出された指導案の「探求的な時間」「短時間学習」は早急に中止するよう求めます。

先に述べたように「探求的な時間」は中身が伴いません。また朝学習や朝読書などの時間をGSの「短時間学習」に充てている実態がありますが、子どもの学びと生活を守るためにこれは行うべきではありません。

また、国の基準を大きく上回る外国語教育の授業時数も早急に改善するよう求めます。

国のは、1・2年生

配当なし、3・4年生35時間以上、5・6年生70時間

以上となっています。しか

し、さいたま市は1年34時

間、2年35時間、3・4年

75時間、5・6年105時間と、

大きく国を上回っています。

数確保のみが強要される事態は、異常としかいよい

導入での負担増は望まない

平成32年からの新学習指

導要領の実施とともに、「外國語教育」が導入され

ます。その際に「さいたま市GSの成果を盛り込む

(5/11研修会での発言)」などということをせず、学

校現場に負担を強要する」とのない移行を望みます。

具体的には、GSテキストと教科書の併用などによる多忙化に強く反対します。

なぜならば、さいたま市のGSは、市民からの要請

が現場に負担を強要する」

と教科書の併用などによる多忙化に強く反対します。

なぜならば、さいたま市のGSは、市民からの要請

30人学級、不^正當にも不採択!

30人学級の実施を求める請願書は、12月10日現在で一四〇九三筆の署名が集まりました。

この署名について、12月10日に市議会文教委員会で請願に反対の立場で民進・立憲・無所属の会が発言し、賛成の立場で共産党が討論にたちました。



女性の権利シリーズ3弾です。
いのちを産み育てるための権利を知ってくらしに生かしましょう。

女性はいのちを産み出す性です

Q. 出産にともなう権利はどんなものがありますか?

A. 大きく3つあります。

わたしたちの仕事は決して楽ではありません。妊娠が分かったら、職場に伝えて、理解と協力をお願いしましょう。おなかの小さいのちを大切にできる職場は、みんなの願いなのです。



権利のことをおしゃべりしましょ。 2018.12 VOL.3 さいたま市教職員組合 女性部 ☎048-641-6763 ✉saitama@kyouiku-net.org

通院休暇

妊娠23週までは4週間に1回

妊娠24週から35週までは2週間に1回

妊娠36週から出産までは1週間に1回

産後1年ではその間1回

取得単位 1日、1時間、1分

妊娠障害休暇

連続する2週間

出産休暇と連続しての取得が可能

ただし、連続する場合は過休日や休日は期間に含む

出産休暇

出産予定日6週間前(多胎妊娠の場合は14週間前)から産後8週間

加算期間2週間

※市職は加算期間1週間

出産補助休暇

5日

出産の日後3週間まで